

郷土を愛し、志高く鳴門の未来を切り拓く人づくり

令和3年4月1日付で教育長を拝命いたしました。教育委員の皆さま、教育委員会事務局職員とともに、本市教育の充実・発展に向け、誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本市では教育は人づくり、人づくりはまちづくりの原点であるとの認識のもと、「ともに学び 育ち合う 共育のまち鳴門」を基本理念に定めた「鳴門市教育大綱」及び「第二期鳴門市教育振興計画」に基づき、豊かな人間性を備え、郷土を愛し、社会に貢献する人の育成をめざした教育を進めています。

学校教育においては、今日、デジタル化の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に社会のあり方が大きく変化する中、市内小・中学校で一人1台タブレット端末環境が実現し、ICTを活用した教育が始まりました。子どもたちは、一人1台のタブレット端末を「文房具」として使い、学習を進めていきます。

ICTを活用することにより、例えば、学校がこれまでも取り組んできた「個に応じた指導」において、先生方は子どもたちの力をさらに引き出すために、一人ひとりの子どもたちに合った課題により効率的・効果的に取り組ませたりすることができるようになります。また、一斉画一的な指導ではうまく学べずに困っている子どもたちにより丁寧に対処していくこともできるようになります。一人1台のタブレット端末は、これまでの「個に応じた指導」をより充実させ、発展させる可能性をもっています。

先に示したのは一例ですが、これからの学校は、集団の中で子どもたちが学び、知・徳・体を一体で育てていくこれまでの教育のよさに加え、ICTを活用することにより学校教育をさらに進

化させていかなければなりません。そうした中で、子どもたちが学校を好きになり、子どもたちが喜んで通うことができる学校にしていくことが郷土愛にもつながっていくと考えています。

「教育は人なり」という言葉に象徴されるように、教育の質を向上させるためには教師の力が何より重要です。「子どもも 教師も育つ学校（園）」づくりを念頭に、学校現場の声にしっかりと耳を傾け、現場第一の教育支援に力を尽くしてまいります。

また、令和4年4月からの市内すべての小・中学校におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）導入や公立幼稚園の再編は未来を担う子どもたちの充実した学びに資するとともに、本市の基本理念である「共育」につながるものであり、教育委員会としてもその準備に全力で取り組んでいきたいと考えています。

社会教育においては、市民誰もが生涯にわたって主体的に学ぶことができるよう多様なニーズに合った幅広い学習機会を提供し、生涯学習の充実を通じて地域社会の教育力を向上させ、誰もが生きがいをもってのびのびと生きてゆける生涯学習社会と人権尊重社会の実現をめざしてまいります。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ予断を許さない状況が続いています。何よりも子どもたちの学びを止めないよう、基本的な感染症対策の徹底をはじめ新型コロナウイルス感染症対応を適切に講じつつ、教育活動を進めてまいります。

教育は、夢や志を育み、その夢や志に挑戦する力を育てる営みです。安全・安心な教育環境を整え、郷土を愛し、志高く鳴門の未来を切り拓く人づくりをめざし、チーム市教委で取り組んでまいります。市民の皆さまのご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年6月

鳴門市教育委員会教育長 三浦克彦